

津市立ハツ山小学校だより

# この学校にわたしたち

2023. 11. 1

N041

## 一見、無駄だと思うことにこそ価値がある



10月31日の午後、声楽家 谷篤さん、ピアニスト 揚原祥子(さちこ)さんを招いて津市芸術体験事業の一環としてコンサートを行いました。お二方とも世界的に有名な大会やコンクールで優秀な成績を残された著名な方です。現在、全国をまわり音楽活動をされている合間に学校訪問をされてみえますが訪問されているのは津市のみと聞き驚きました。コンサート後、会議室で谷さん、揚原さんと少しの

時間でしたがお話をさせていただきました。子どもたちが一番喜んだ「うんこ」と「かえる」という曲を入れた理由は“一見、無駄だと思うことにも価値がある”ということを伝えたかったからだと話してみえました。また、揚原さんは音楽家であると同時に教育者でもあるため、幼少期の教育についても話をされました。「ハツ山小のお子さんはみなさん、素敵ですね。きっとこの自然に囲まれた素敵な環境が大きく影響されていますね」とおっしゃられ、ある研究者がノーベル賞を受賞した人を調べたところ、幼少期に自然の中でいっぱい経験をした人がほとんどだったという結果が出たということをお聞かせいただきました。

令和4年度から津市では「津市架け橋プログラム」として5歳児から小学校1年生までの架け橋期の教育の接続に注目して取り組みを進めています。本年度、本校はその指定を受け、研究を行っています。ホームページにも掲載しましたが25日には子ども園の先生方と子どもの姿について語り合うワーキング会議を行いました。そのようなことを揚原さんにお伝えすると、“幼少期に自然体験や芸術体験を意識して取り組んでいくことが将来、大人になった時のために大切です。素敵な取組ですね”と教えていただき、興味深く聞いていただきました。お忙しい中、ご参加いただきました保護者の皆様、有難うございました。なお、今回は音楽の支障のない程度に写真を撮りホームページに掲載しましたのでご覧ください。



(右上の写真は白山子ども園とハツ山小職員のワーキング会議の様子)